

1214年 (42才) 関東に移る → 念仏布教 (約20年間)



関東での布教地のひとつ



弁円の居た板敷山

親鸞を殺害しようとした山伏『 』が弟子になる

1234年 (62才) 京都へ帰る 著作活動のためか？ 恵信尼などは、越後の実家へ
末娘の「覚信尼」が京に親鸞と同行

以後、著作活動に専念する。主な著作。

()

『 』 = 教行信証 正信偈を含む)

教巻・行巻・信巻 証巻・真仏土巻・化真土巻 (全6巻) よりなる

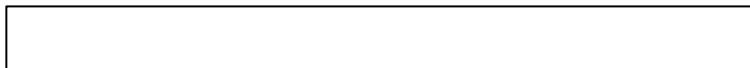
『 』 (きんちょうわさん)

1.浄土和讃 2.高僧和讃 3. () 和讃 :恩徳讃を含む)
など多数。

1256年 (84才) () を義絶する → 関東の教団を惑わした。

「親と思うべからず」

1262年 (90才) 11月28日 入滅 (京都) 善法院 (弟の寺) にて



「一人居て喜はば、二人と思ふべし、二人居て喜ばば、
三人と思ふべし、そのひとりは 親鸞なり」



親鸞終焉の地

11月29日 茶毘に付し、京都東山の () の地に埋葬

年 組 番 名前 _____